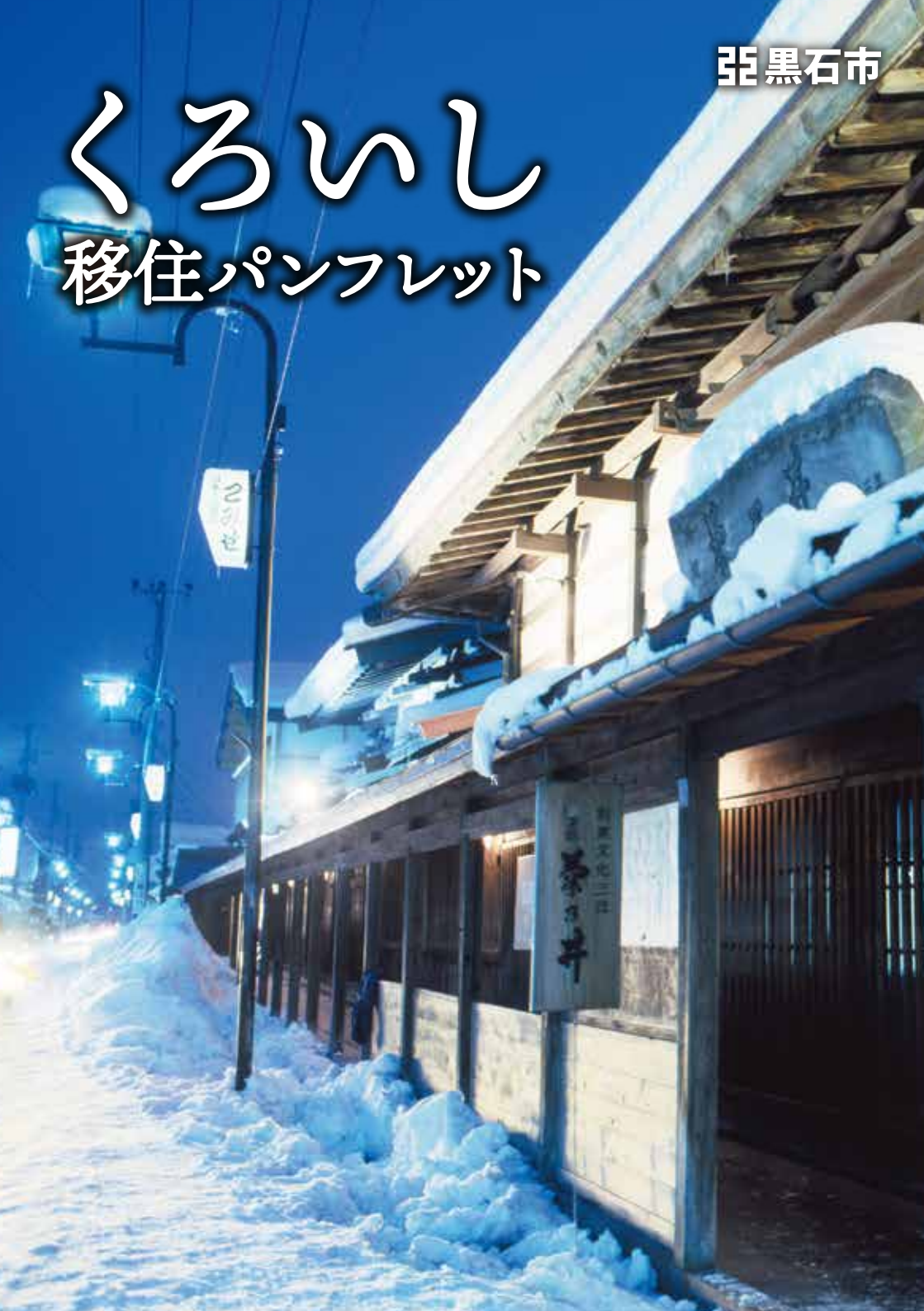


亞黒石市

くろいし

移住パンフレット



黒石を知る

八甲田系の伏流水が豊富に湧きだすこの町は、良質な米・日本酒・りんご・高原野菜の生産がさかんである。水が恵みをもたらし、人を創り出す。



～水清く 人情のあつい あずましの里～

青森県のほぼ中央に位置し、豊かな自然と豊富な温泉に恵まれた古くからの城下町。江戸時代から形を変えずに残る歴史を感じる街並みや、八甲田の山裾に広がるりんご畑、緑豊かな田園風景、四季折々の風景が訪れる人を魅了する。日々の目まぐるしさを忘れさせてくれるようなゆっくりした時間を過ごせる場所、それが「黒石」である。



豊富な温泉に恵まれた街



ここでしか味わえない、極上の癒し



歴史を感じる街並み



中町こみせ通り

5p - MAP ㊱

こみせとは、雪よけの屋根のこと。藩政時代から今に残るアーケード状の風情のある通りで「日本の道百選」のひとつにも選ばれており、造り酒屋・蔵・民家などが建ち並ぶ。

東北の小嵐山



中野もみじ山

5p - MAP ㊲

青森県有数の紅葉狩りスポットの一つで、京都の嵐山になぞらえて「小嵐山」と呼ばれている。紅葉シーズンには夜間ライトアップも行われ、県内外から多くの観光客が訪れる。

黒石での暮らしに本音で答える！

～黒石への移住者 × 黒石出身者～



【コーディネーター】
弘前圏域
移住交流デザイナー
野口 拓郎さん

茨城県出身。大学院修了後、地域おこし協力隊として広島県三次市に移住。任期満了後、鳥根県の地域研究機関を経て、平成27年に弘前大学の地域連携専任教員として着任。現在は弘前圏域移住交流デザイナーとして、移住促進にむけた調査研究や相談対応業務を担っている。



黒石市
地域おこし協力隊
嶋田 英子さん

東京都出身。平成30年より、黒石市の地域おこし協力隊として着任。自称「青森おたく」というほど「青森愛」が強く、念願の青森の地へ住む夢を果たす。移住後は、黒石市商工課の職員として前職の販売員としての経験を活かし、黒石市の特産物のPRや販売強化に携わっている。



弘前大学
人文社会学部
社会経営課程
地域行動コース 2年
宇野 和葉さん

黒石市出身。弘前中央高等学校卒業。高校では生徒会長として活動。現在は弘前大学社会心理学研究室に所属し、地域社会について学ぶ。



清流と紅葉が美しい中野もみじ山

移住者にとっての黒石暮らしは？

野口：実際に黒石に移住してみて「黒石の良いところ」を教えてください。

嶋田：水と空気がとにかく美味しい！

あと、景色も良いですね。ちょっと移動すればほとんど景色が変わって全てが素晴らしい景色。

そういうのが日常にあると、たとえ疲れることや嫌なことがあってもリセットできます。

日々のストレスの溜まり具合が東京にいた時と全然違いますね。

あと、何よりも黒石の人が優しいです。

野口：そうですね！黒石の人は本当に優しいと思います！

嶋田：あとは、方言の津軽弁が独特で、わたしは黒石の津軽弁が温かくて好きです。

野口：逆に、生活していて大変なことはありますか？

嶋田：冬場、路面がガタガタっていうのが、すごく気になるところがあります。車で走っててもガタンとなったり…。

野口：除雪の後、ほこほこになってたりしてることですか？

嶋田：そうですね。雪が多いときは特にガタガタになって…。

轍(わだち)ができてたりして。もうしょうがないんですけどね。雪が降ると車道も狭くなるし、車が多い時間帯は、歩くのがちょっと怖いなあと思ってます。

野口：東京のご出身ですが、冬の生活はどうか？

嶋田：雪は思っていたより大丈夫でした。だいぶ覚悟してたんですけど…。

野口：来る前はすごくビビってた？

嶋田：すごくビビってました(笑)。黒石市全部が「特別豪雪地帯」に入っているんで、特別なんだろうなあと思っていたんですけど。でも困った時は、みんなが助けてくれましたし、生活上での、雪についての知識もいろいろ教えてもらいました。

黒石出身者が感じる黒石とは？

野口：黒石出身の宇野さんにお聞きします。嶋田さんは、黒石の良いところを「自然」や「癒し」だと言っていますが、ここで生まれ育った人の目線での黒石の良さはどんなところですか？

宇野：先に嫌なことを言いますと…わたしは、虫が苦手で、家の近くが全部田んぼなんですけど、バツとかがすごく多くて。

虫が多い田んぼの中の道を自転車で行くのがちょっと苦手(笑)。でも、東京などへ行った後、地元に戻ってくると、黒石は景色が開けているというのを改めて感じます。

建物に遮られずに田んぼだけが見えるとか、そういう意味では解放感があるところが良いなあと思います。

四季折々を感じられる黒石の好きな季節は？

野口：嶋田さんの中で黒石の好きな季節はいつですか？

嶋田：黒石の好きな季節は秋です。秋は最高です。

野口：では、特に好きな黒石の秋、おすすめの観光スポットや見どころを教えてください。

嶋田：普段の何気ない風景がもう最高で、中でもリンゴ畑です。リンゴが実ってきて、一面がリンゴだらけという風景は、絶対に東京では見られません。また、黒石の地形の特徴として「山がちな」ので、斜面でリンゴを育てているんです。山の方に登って麓を見下ろすことができるお気に入りのスポットがあるので、全部リンゴ畑なんです。そして岩木山が向こう側に見えて…。

広い風景と岩木山と一緒に見ることができるのが黒石の特徴かなあと思っています。あと、紅葉の色がビビッドですね。

野口：宇野さんにとって黒石の好きな季節はいつですか？

宇野：春ですかね。単純に虫がいないから(笑) 気分的にも過ごしやすいくて、暑くもなく寒くもなく、ずっと見上げれば桜の花がピンクで、気づけばあちこちに桜が咲いてるなああと。



りんご畑と津軽富士「岩木山」

黒石のおススメスポットは？

野口：黒石市内の見どころ、都会の人を対象にしたおススメはありますか？

嶋田：黒森山の浄仙寺です。

野口：そこはどのようなところなんですか？

嶋田：森の中にあるお寺です。風景にも癒されるし、お寺好きの人にもたまらないと思います。お寺なのにカフェ(松楓亭)があって、美味しいコーヒーと手作りドーナツが食べられるんです。行くたびに、幸せな気持ちになれます。非日常感を味わうことができる場所です。



くろもりやまじょうせんじ
黒森山浄仙寺



しょうふうてい
松楓亭のドーナツとコーヒー

野口：宇野さんのおススメは？

宇野：オーバックスですが、秋だったらまさにここ、中野もみじ山。あと、わたしは黒石のこみせ通りが大好きです。あの風景・雰囲気は他にはないものだと思うので…。こみせ通りの風景の中でも夏が特に好きです。夏は、ねぶた祭りの運行コースになっているんですが、地元の子もたちが作った灯籠がぶらさがっていて、それに灯りがともったときは本当にきれいなんです。古めかしい感じなのに、灯りがともるとすごく元気な感じに見えて、まるで異空間にいる様です。



夏を彩る黒石ねぶた祭り

黒石へ移住を考えている方へメッセージ！

嶋田：思った以上に住みやすいというのは確かです！雪が大変とか、雪が降らない地域に住んでいる人は戸惑いが多いと思うんですが、北国には親切な人が多いので、困った時は助けてくれます。冬の生活にも全然困らないっていうのを強く訴えたいです。

子育てを黒石で考える場合、子供が遊べる場所は、黒石のように自然に囲まれて育ったほうが絶対いいと思います。私も東京出身ですが、田舎の方で、田んぼに囲まれて育ったので、土があったほうが豊かに育つと思います。気にかかることがたくさんあり、「でもいつかは移住したい…」と考えている人は、早く移住するに越したことはないです。とにかく一度、黒石に来てほしいと思います。旅行がてらでいいですので！

宇野：青森県と言えば、弘前・青森・八戸の代表される3市があります。だから黒石は田舎と思われるかもしれませんが。それが理由で、黒石への移住が億劫になってる人もいると思うんですが、車で20分～60分圏内に大型商業施設もあり、決して隔離された土地ではないです。色々な意味でも「開けた土地」で、他とは違うゆとりがあって、忙しい日々から解放されたり、「あずましい」(※1)感じで過ごせるのではないかなあと思っています。ぜひ黒石に来てもらいたいです。

※1 標準語で「気持ちの良い」の意味



撮影日：2019年10月31日 撮影場所：中野もみじ山

黒石エリア別生活マップ



休日はぶらっと...

黒石市街から車で約20分ほど走れば、日本一の桜で有名な弘前市があり、約50分ほど走れば県庁所在地の青森市がある。商業施設や衣食住に便利なお店の他、観光名所も多いので、休日は市外へのお出かけもおススメ!

市街地エリア

かつて「黒石城」が築かれた黒石は、城下町の名残があり、商家や庭園、こみせなどレトロスポットが多い。また中心部には黒石市役所・病院・警察署・駅・東北自動車道黒石I.C.の他、ショッピングモールなどもあり、市民の集いの場になっている。



MAP ③



アクロプラザ黒石

食品スーパー、衣料、生活雑貨、ホームセンターなど総合的な店舗が揃った施設。

MAP ④



あずま東公園

園内には約700本の桜の木が並び、毎年、桜まつりが開催されている。遊具もあるので子どもの遊び場としてもおススメ。

MAP ⑤



スポカルイン黒石

スポーツ・文化・産業の中核施設。コンサートやスポーツの大会なども可能で、フィットネストレーニング室や図書コーナーなど誰でも気軽に利用できる。

MAP ⑥



食エリア

黒石を代表する食べ物と言えばやはり「黒石やきそば」。市内には50軒を越えるお店がある。そして、B級ご当地グルメ「つゆやきそば」も忘れてはならない逸品。また、レトロな街並みの中にあるカフェやネオン街も楽しむことができる。



松の湯交流館

十文字カフェ(MAP-⑦)も併設している黒石市民のコミュニティスペース。かつて銭湯だったこの場所は、市民の憩いの場所として生まれ変わり、今ではイベントスペース・休憩所・案内所として活用されている。屋根から突き出ている大きな「松の木」がこの建物の名前の由来。

山エリア

黒石市の80%は何と「自然景観」!! 山裾に広がるりんご畑や、浅瀬石川の清流、広大な土地など壮大な風景を見渡すことができる。四季がはっきりしており、五感で季節の移り変わりを体感できるのも魅力の一つ。



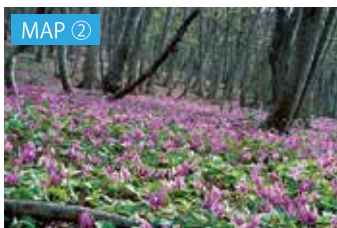
MAP ①



浅瀬石川ダム

昭和63年に完成。ダム湖の周辺には「浅瀬石川ダム資料館」や「道の駅 虹の湖」が整備されている。

MAP ②



カタクリの小径

日本でも有数のカタクリの花の群生地。山奥にひっそりと咲いている3haものカタクリの花は、見頃期間には一般公開される。



豪雪地帯

黒石は全域で特別豪雪地帯。特に山間部は雪深い、それぞれ泉質の異なる温泉郷が点在していたり、観光スポットも多い。

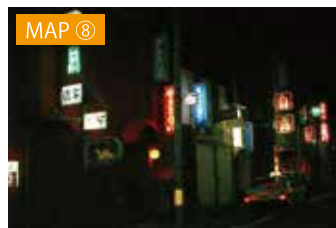
MAP ⑦



十文字カフェ

蔵を改装したアジアテイストのカフェ。マレーシアから黒石へ移住した店主が考案したメニューは絶品。

MAP ⑧



よされ横丁

飲食店街が立ち並ぶ歓楽街。長屋風の飲み屋街で、路地裏のまち歩きスポットとしても楽しめる。

MAP ⑨



レストラン御幸

黒石を代表するレストラン。創作料理や郷土料理など豊富なメニューを取り揃えている。つゆやきそばも提供している。



桜の名所『東公園さくら山』



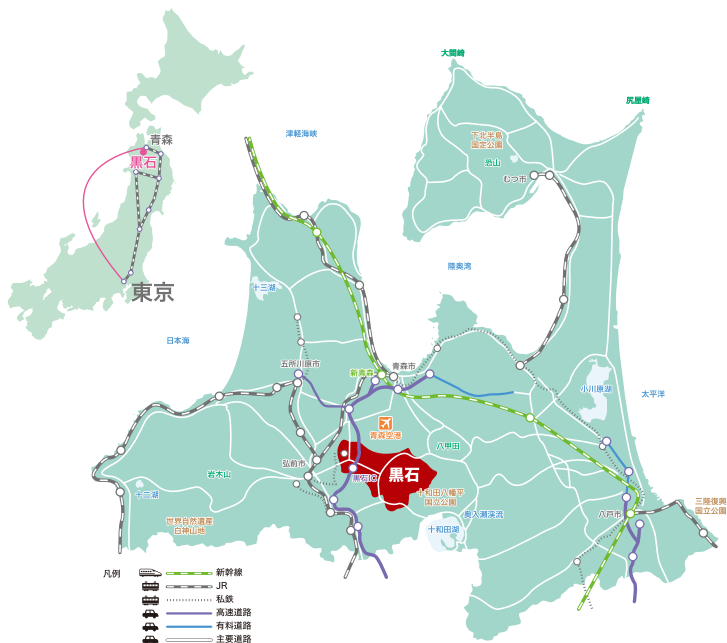
日本三大流し踊り『黒石よされ』



東北の小嵐山『中野もみじ山』



津軽の水がめ『浅瀬石川ダム』



交通アクセス 天候・交通状況により変動します。



お問い合わせ

黒石市 企画財政部 企画課

TEL 0172-52-2111
〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11-1
黒石市公式HP <http://www.city.kuroishi.aomori.jp>



※掲載内容は2020年2月末現在の情報です。発行後変更となる場合があります。